

中央地域

5-1

地域が抱える課題

1

地域の課題

中央地域では以下のような課題への対応が求められます。

中心市街地において、多くの人が集い・にぎわう拠点の形成

八戸市の中心拠点として、多様な高次都市機能の集積を図り、都市全体や圏域全体の便利で快適な生活を支える都市サービスを効率的に提供するとともに、都市の活力・魅力やにぎわいを生み出す、多くの人が集い・にぎわう拠点を形成することが必要です。

中心市街地と沼館地区・田向地区との機能分担と連携

中心市街地と沼館地区・田向地区は、近接性を活かして、互いに連携しながらそれぞれの特色を活かす機能分担を図る必要があります。

また、それぞれの拠点間を結ぶ路線バスなどの公共交通ネットワークのサービス水準を維持することが必要です。

中心市街地の隣接地区における居住環境の改善

小中野、吹上地区などでは、狭あい道路の解消や下水道の普及など、都市基盤の整備を推進し、居住環境を改善していくことが必要です。

類家、城下地区などの中心市街地に隣接し都市基盤がある程度整備されている住宅地は引き続き良好な居住環境を維持することが必要です。

緑空間や歴史・文化資源の維持・活用

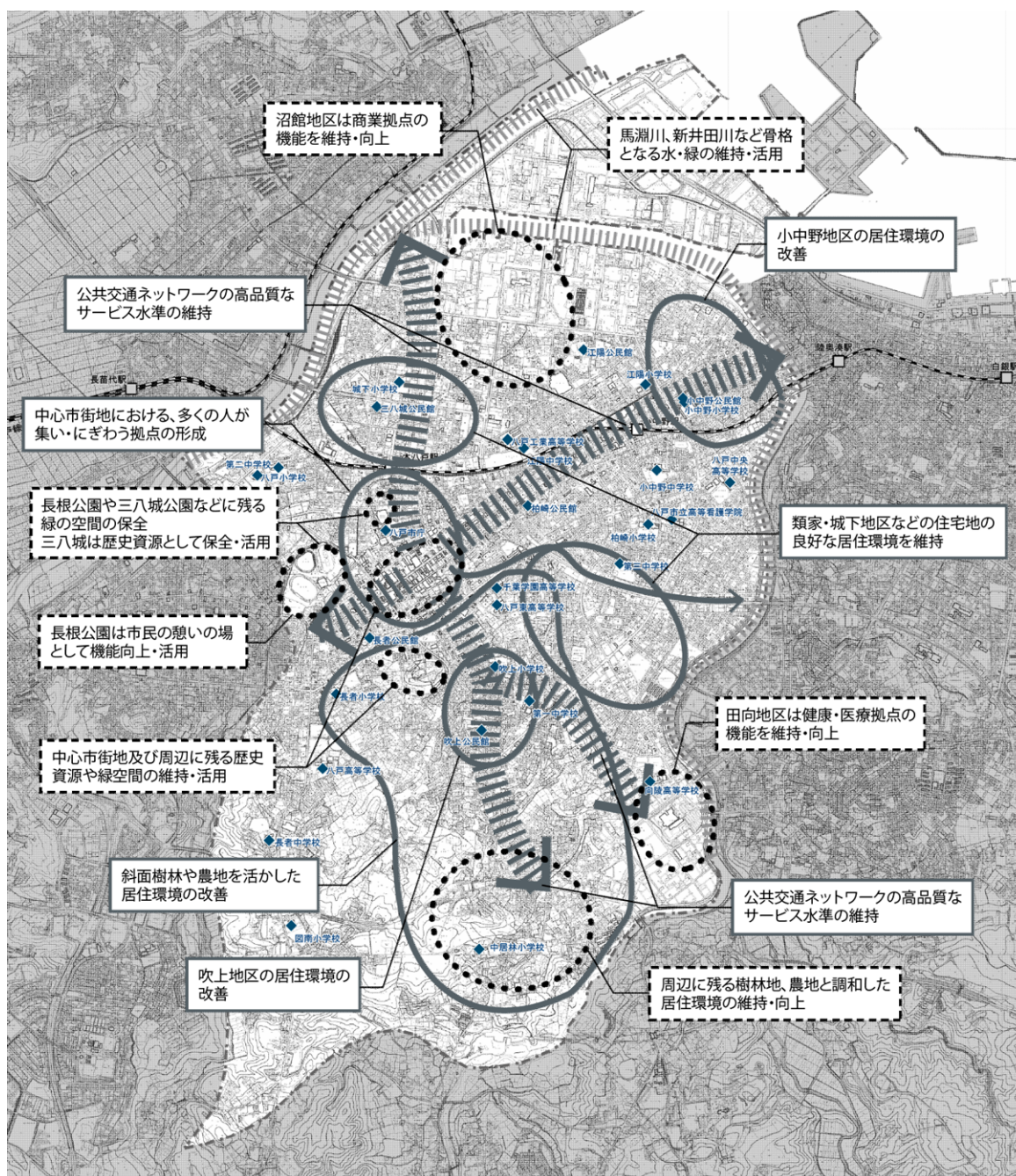
長根公園や三八城公園、市街地の周辺部に残る緑の空間の保全を図るとともに、長根公園は市民の憩いの場として機能向上・活用、三八城公園は歴史資源として保全・活用をすすめることが必要です。

また、八戸三社大祭やえんぶりなどの八戸独自の歴史文化を継承するため、地域のコミュニティを維持することが必要です。

2 課題図

地域の問題点・課題点とまちづくりに活かす資源を下図のとおり示します。

〔中央地域の課題図〕



凡例			
問題点・課題点			鉄道駅
まちづくりに活かす資源			公共施設

5 中央地域

5-2 まちづくりの目標

1 地域のめざすべき方向

八戸市と近隣町村に住む人々の活動の中心となり、八戸都市圏の活力を維持・創造するまちをめざす

八戸市の市民はもちろんのこと、八戸圏域連携中枢都市圏を構成する近隣町村に住む人々にとっても、働く、買う、遊ぶ、集まるといったさまざまな活動の中心になる地域として、都市機能や生活機能などの集積をすすめるとともに、本地域を中心としたさまざまな活動を通じて、八戸都市圏の活力を維持・創造を図ります。

充実した既存の機能、サービスを活用して、活気にあふれた仕事、くらしが展開されるまちをめざす

既存の都市機能やサービス機能の維持を図るとともに、さらなる機能集積をすすめ、多様な交流活動が行われる場、高次のサービスを受けられる場、安全で便利に暮らすことのできる場などの形成を通じて、活気にあふれるまちの実現を目指します。

だれもが訪れやすく便利に移動できる、交通環境が整ったまちをめざす

道路や歩行者空間の整備、適切な交通誘導など交通環境の充実や、路線バスなどの公共交通ネットワークを維持することで、市内各地域や八戸都市圏からのアクセシビリティを維持するとともに、地域内の安全かつ快適な回遊性の維持を図ります。

2 地域の将来像

八戸市の活力を創造し続ける、躍動するまち

中央地域は、これまで八戸市や周辺市町村の中心としての役割を担ってきました。

これからも商業、業務、エンターテインメント、医療、スポーツ、文化、交流などのさまざまな機能を充実させ、広域的拠点として活力を創造し続け、躍動するまちづくりをすすめます。

また、三社大祭やえんぶりなどのまつりや地域の歴史資源を大切にしながら、魅力を発信するまちづくりをすすめます。

1

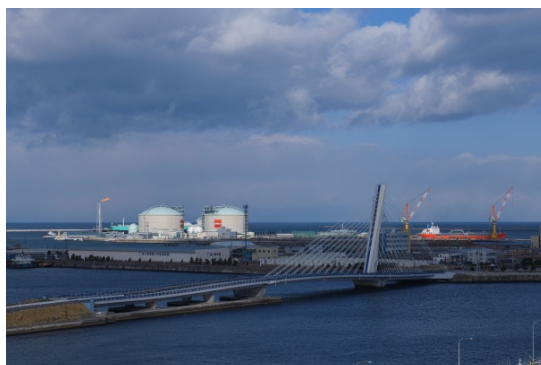
土地利用の方針

- 中心市街地では専門特化型商業、飲食機能を、沼館地区では大規模商業、エンターテインメント機能を主に分担します。沼館地区では、前面の第一工業港を水辺空間として活用しながら、商業・エンターテインメント機能の維持を図るとともに、中心市街地と連携し補完しあう拠点の維持を図ります。
- 八戸市は、八戸地域保健医療圏の中心市であり、市内だけではなく圏域全体の医療サービス向上に向け、田向地区に立地する市民病院を核として、新井田川などの周辺環境を活かしながら、健康・医療拠点への機能集積を目指します。
- 小中野、江陽、図南、中居林地区などでは、既存の公民館や商業施設が立地する場所を中心として生活サービス拠点の形成を図ります。
- ポートアイランドでは、国際貿易・物流拠点としての機能の維持・向上を図るとともに、多くの人々が気軽に利用できる空間形成に努めます。
- 都市基盤の整備されている城下、類家地区などでは、緑化の推進、歩道など公共空間のバリアフリー化、緑豊かな落ち着いた街並みの誘導などにより居住環境の一層の向上を図ります。
- 都市基盤の未整備な地区が一部にみられる小中野、吹上地区などでは、生活道路、下水道、身近な公園・広場などの整備をすすめ、居住環境の向上を図ります。
- 糠塚、中居林地区などの住宅地では、周辺に残る樹林地、農地と調和した居住環境の維持・向上に努めます。

2

交通の方針

- 中心市街地と沼館地区、市民病院周辺を結ぶ路線バスによる公共交通ネットワークを維持し、高い利便性を確保します。
- 幹線軸や準幹線軸となっている路線バスによる公共交通ネットワークを維持し、中心市街地への高い利便性を確保するとともに、案内・情報発信を充実し利用促進を図ります。



5 中央地域

3 水とみどりの方針

- 長者山周辺の緑は、中央地域に残る貴重な緑地空間として維持・保全に努めます。
- 馬淵川、新井田川、第一工業港などを活用し、水辺の親水空間や散策路、海上ネットワークの整備をすすめます。
- 馬淵川右岸の水辺の楽校を生活うるおい拠点として位置づけ、地域住民が水辺と親しむ憩いの場、生態系や環境についての学習の場として活用します。
- 市民の憩いの場としての機能確保や、災害時などの一時的な避難場所として、市街地を中心に公園緑地の整備を図ります。

4 景観の方針

- 三社大祭やえんぶり、七夕などの祭、三八城公園（八戸城跡）や八戸城角御殿表門などの南部藩の城下町に由来する豊富な歴史資源を活かして、訪れる人や市民が歴史文化を実感できるまちづくりをすすめます。
- 美術館などの芸術文化施設の機能維持・向上を図るとともに、芸術文化と歴史文化が相互に連携・共鳴し合うことで新たな文化を発信するまちづくりをすすめます。
- 歴史文化施設や芸術文化施設に多くの人が訪れる地域として、わかりやすいまちの案内表示やモデルコースの設定など来訪者に対するホスピタリティを高めていきます。
- 商店街では、電線の地中化、建物や広告物のデザイン、カラー舗装、植栽緑化、夜景の演出などをすすめ、市内、周辺市町村から人が集まる拠点としてふさわしい街並みの形成を図ります。
- 沼館地区では、水辺、緑、商業・エンターテインメントのにぎわいなどが調和した景観の形成をすすめるとともに、敷地内の植栽緑化を誘導します。

5 防災の方針

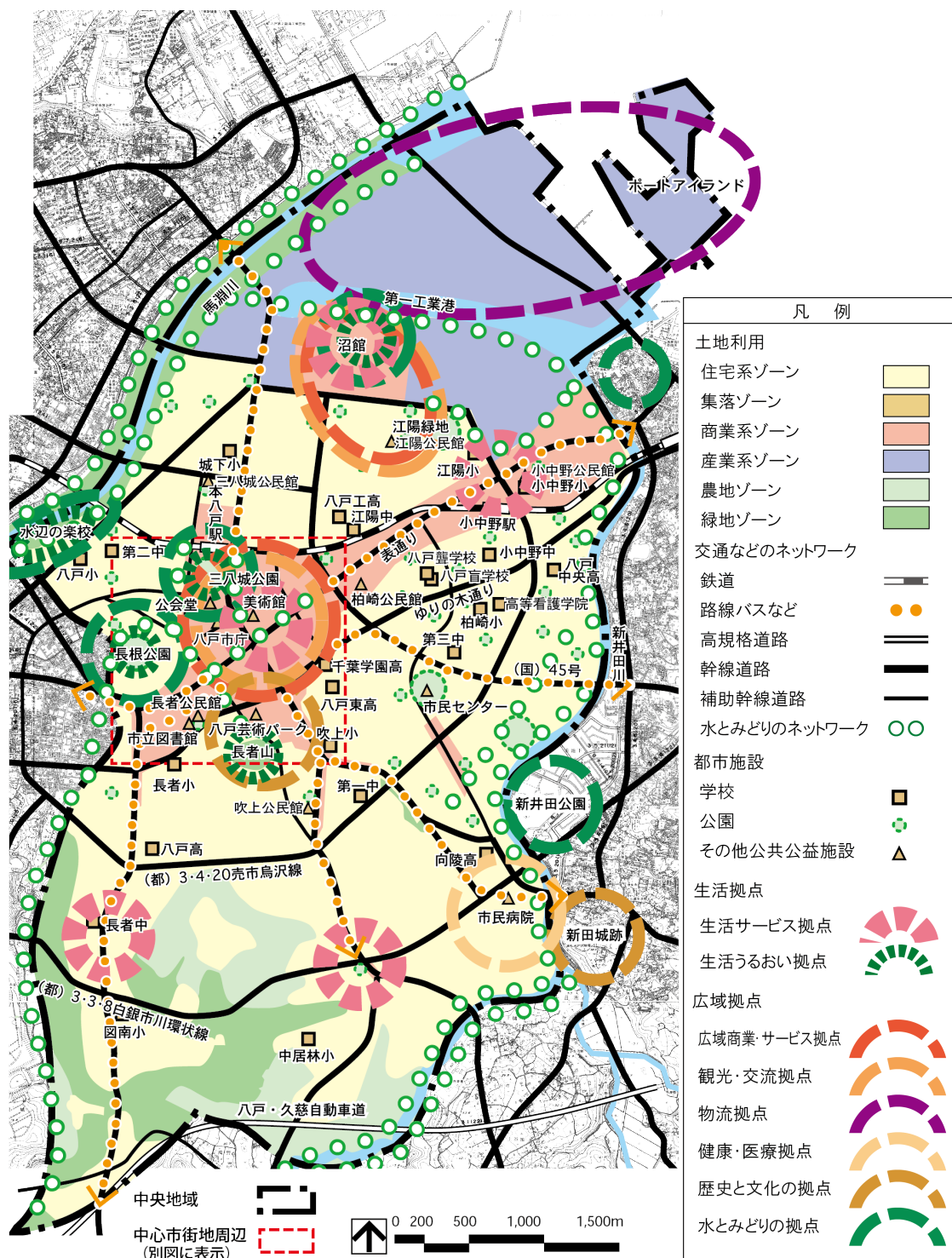
- 大雨等による浸水被害が発生している地域では、排水施設の整備などをすすめ、災害に強いまちづくりをすすめます。
- 小中野地区などの家屋が密集し生活道路が狭い地区では、まちづくり協定などの活用により、沿道の建て替えと連携して道路の拡幅を誘導し、火災などの災害に対して安全な地域の実現を図ります。
- 自主防災会などの地域の組織と連携し、ソフト面からも防災に取り組みます。

5-4

地域の構想図(地域全体)

中央地域全体のまちづくりの目標と方針を踏まえ、地域の構想図を下図のとおり示します。

〔中央地域（地域全体）の構想図〕



5 中央地域

5-5

まちづくりの方針（中心市街地）

1

土地利用の方針

- 商業・業務、都市サービスなど多様な機能の集積と土地利用の高度化を図るとともに、利便性を活かした都心居住の推進を図ります。
- 三日町周辺では、市内や周辺市町村から集客するにぎわい拠点や、商業施設や住居機能などの生活・居住拠点の創出などをすすめます。
- 表通りや裏通り、市庁前からゆりの木通りにつながる通りでは、商業・業務・サービス機能を強化、充実を図ります。
- 中心市街地における公共空間のバリアフリー化を図ることにより、高齢者や障がいのある方を含めて誰もが安心して歩けるようにするとともに、歩行者が降雪、路面凍結時にも安全に回遊できるような歩行空間の確保に努めるなど、冬期でも活動しやすい市街地の整備をすすめます。

2

交通の方針

- 都市計画道路 3・5・1 号沼館三日町線の整備促進を図り、安全な道路環境を確保しながら、緑豊かな通りとして整備をすすめます。
- 路線バス（幹線軸や準幹線軸）による公共交通ネットワークを維持し、中心市街地への移動時の利便性を維持するとともに、案内・情報発信を充実し利用促進を図ります。

3

水とみどりの方針

- 長根公園は、市の中心に位置する交流・レクリエーション拠点としてふさわしい公園づくりをすすめ、憩いの場としての機能の維持・更新・活用を図ります。
- 八戸芸術パークの整備促進を図り、緑地環境など一体となった緑豊かな芸術文化の拠点の形成を検討します。
- オープンスペースや空地などを活用した植樹やポケットパーク整備などにより、快適なゆとり空間のある市街地の整備をすすめます。

4

景観の方針

- 都市のにぎわい軸や小路（こみち）では、沿道の事業者や住民の協力を得て植栽や店舗のインテリアなどの工夫により、歩いて楽しい景観の形成を図ります。
- 本八戸駅通り沿いは、積極的な植栽による豊かな緑空間と広い歩行空間が一体となったうるおいあふれる景観の形成を図ります。また、沿道の店舗は、鉄道で中心市街地を訪れた際の玄関としてふさわしい街並みの形成を図ります。
- 本八戸駅通りなどの主要な通りは、電線の地中化を推進し景観の向上を図ります。

5-6

地域の構想図(中心市街地)

中央地域(中心市街地)のまちづくりの目標と方針を踏まえ、地域の構想図を下図のとおり示します。

〔中央地域(中心市街地)の構想図〕

